



JR和歌山線粉河駅



とんまか通り (商店街)



粉河祭のだんじり (2017.7撮影)



山車上部の髭籠 (ひげこ)



西国三十三所第三番札所 粉河寺大門

粉河祭の起源は、丹生社が創始された延暦年間(平安初期780年頃)とされています。(諸説あり)
 丹生社は、大伴船主が丹生明神を、父大伴孔子古が創始した粉河寺の守り神としてその側にお祀りしたことに始まります。
 丹生明神とは、郷土の祖神とされる丹生都姫尊のことであり、天照大神の妹神にあたり、またの名を稚日女尊とも呼ばれています。

享禄年間にいたり戦乱のため途絶えますが、天正13年(1585年)猿丘(粉河城)城主・藤堂高虎によって再興されます。
 これは天正13年3月、豊臣秀吉の根来征伐により粉河寺も運命を共にしますが、戦後の治安維持と粉河復興の手段として祭礼が復興されたものと思われます。

現在行われている渡御式(一般にお渡りと呼んでいます)などの形式をとるようになったのは、室町時代(1338~1573年)からで、かなり歴史が古いです。しかしそれ以前にも神輿(みこし)などの形の祭礼が行われていたことは確かで、住民も相撲などを奉納して参加していたと考えられています。
 渡御式は、大伴船主が坂上田村麻呂将軍の奥州征伐に出陣し、軍功をたて祖神の捧げ凱旋したときの行列を再現し伝えたものと言われています。また紀伊名所図絵にも、渡御の様子が詳細が載せられており、現今の渡御式もほぼこれに近い様式です。

本来の粉河祭の中心的行事は渡御式ですが、住民の側から祭を喜び、その楽しい雰囲気盛り上げるのは何といっても山車であり、現在は渡御式が2年に一度の行列となっていることから、近年では、粉河祭イコールだんじりというイメージが定着しつつあるようです。

だんじりで使用される山車上部の髭籠(ひげこ)について『折口信夫全集 第二巻』によると、髭籠とは神の依代であり、神は山車上部に高く揚げられた髭籠を目印に降りてくるのであるという。粉河祭では宵祭に神を髭籠にお迎えし、太鼓と鉦を叩いて神をお慰めする。そして髭籠に降りてきた神を町中にご案内することによって町内の安全を祈願し、神のお恵みを頂いているのである。

最近では少子高齢化が進み、若者の人口が減少していますが、この伝統ある粉河祭と髭籠が後世に受け継がれていくことを願ってやみません。

(※取材にご協力いただきました方々に、心からお礼を申し上げます。)



粉河城跡(猿岡城跡)への入口 (秋葉公園)



藤堂高虎の初城猿岡城跡石碑



→観光特産センターこかわさんにて販売中

藤堂高虎グッズ

粉河祭は紀州三大祭のひとつ、粉河寺鎮守粉河産土神社の祭礼で、JR和歌山線粉河駅前から粉河寺大門前までの粉河とんまか通りにだんじりが並びます。
 宵祭の夜にはそれぞれのだんじりの提燈に火が灯り、きらびやかに飾付けられただんじりが粉河とんまか通りを勇壮に運行します。また、本祭には、子どもだんじりやもち投げ、粉河中学校吹奏楽部による演奏などのイベントが行われます。
 今年も、宵祭は七月二十九日(土)本祭は三十日(日)に盛大に開催されました。



2017年 秋号

■発行■

〒649-6492
 紀の川市西大井338番地
 紀の川市観光協会広報部会
 編集長: 広報部会長
 川口 純子
 TEL 0736-77-0843
 FAX 0736-79-3928
<http://www.kanko-kinokawa.jp>

榎本ふあ〜む 畑スーパー「あっぱれくん!」



畑がお店です。自分で収穫した野菜!目の前で収穫した野菜を購入することができますよ。これに勝る鮮度はありません。

紀の川市西大井234-1
 TEL 090-2384-6445

丸浅旅館



気さくな女将でがんばっています。粉河の歴史を語るのが好きです。粉河へきてよ!!

紀の川市粉河2071-1
 TEL 0736-73-2246
<http://www.maruasaryokan.jp>

cafeしおん【株しおん】



紀の川市でとれる旬の食材を使って、四季折々のデザートやランチを、ひとつひとつ手作りで提供しています。

紀の川市貴志川町神戸802
 TEL 0736-64-2315
<http://sion77.com>



会員紹介

JA紀の里 西部流通センターへ見学に!!

JA 紀の里 西部流通センターでは、6月中旬から桃の選果が始まりました。

選果した翌日には市場に出回るように、作業員の目視やカメラによる形状の選定、検査装置での糖度や熟度のチェック、梱包工程が流れ作業で行われています。

糖度や熟度をセンサーの反射や光合成色素の度合いで判断する機械の役割と、1個1個の桃を丁寧に梱包する手作業の両方が鮮やかでした。

8月中旬までさまざまな品種の桃が出回ります。

(いよぼん)



じゃんじゃん横丁祭りに参加しました!!

7月16日(日)3連休の中日、に和歌山市の「じゃんじゃん横丁祭り」に参加してきました。

当日は、暑くて大変でしたが、多くの方が来場され、子供参加の宝探しやマグロの解体ショー&即売会など、楽しい催しがいっぱいでした。

また、フルーツファーム和歌山さんも出店されていて、まるごとフローズンいちごがいっぱい入ったかき氷やパフェは大人気でした。

「ももぶる」も元気に会場を回ってPR!!

子どもたちにぷるぷる風船を渡すと、すごく喜んでくれました。子供たちの笑顔を見ると、暑さも吹き飛びますね!

(事務局)



旬の桃を無料配布! ピーチが関空で和歌山桃キャンペーン!!

7月6日、ピーチが関西空港第2ターミナルで「和歌山桃キャンペーン」を開催。このイベントはピーチが紀の川市とJA紀の里と共に今が旬の「桃」を乗客に無料配布するもの。観光協会からは、ももぶると観光キャンペーンスタッフの松下さんが参加しました。

(ももぶる)



LINEスタンプも
よろしくね♪



ゆるキャラグランプリ 2017 に
紀の川ぶるぶる娘がエントリーしております。

<http://www.yurugp.jp/vote/method.php>

- ①まず、上記アドレス先にてID登録を行ってください。
- ②登録が完了しましたら下記アドレスもしくは、QRコードより『紀の川ぶるぶる娘』の紹介ページに移動できますので、そちらから投票をお願いいたします。

<http://www.yurugp.jp/vote/detail.php?id=00002687>

一日一回投票 出来ます!

紀の川ぶるぶる娘の応援を
よろしくお願いたします!

投票終了: 11月10日(金) 18時まで



江戸中期の建築になる春日造の華麗な社殿。後ろの山は風猛山と呼ばれ、経塚が出土しています。紀の川市粉河 2788 番地

粉河産土神社は、和歌山県紀の川市粉河にあり、紀州三大祭りのひとつ粉河祭がおこなわれる神社です。
粉河寺の敷地内に建つ粉河産土神社の歴史は古く宝亀年間(七七〇年)大伴氏が粉河寺を創始する際に、主祭神の丹生都比売命を勧請したことに始まると伝わります。
現在、主祭神は丹生都比売命(ニウツヒメノミコト)と天忍穂耳命(アメノオシホミミノミコト)、配祭神は創建に関わった大伴船子古(オオトモノクシコ)とその子の大伴船主命(オオトモノフナヌシノミコト)です。
平安時代の末期には、平維盛が参拝したことが「平家物語」に記されているように、平安・鎌倉時代の貴族には大変信仰されたようです。また、粉河寺の鎮守の神であると共に、粉河村の鎮守社としてもあつく地元で信仰されてきました。(おりちゃん)



紀の川市
歴史探訪 5



観光協会
イベントスケジュール



6月~8月のイベント

2017ほたるサミット「紀の川」

(粉河ふるさとセンター)

ホテルまつり (細野溪流キャンプ場)

7月 大賀ハス観蓮会 (平池緑地公園)

桃トップセールス (関西空港第二ターミナル)

粉河祭 (粉河とんまか通り)

8月 紀の川市民まつり (打田わかもの広場)



今後のイベント予定

9月9日(土)

第9回粉河とつろつ祭 (勝田胃腸内外科医院前)

10月29日(日)

第8回西国ハートフルウォーク

(紀伊国分寺・粉河寺)

10月29日(日)

青洲まつり (青洲の里ほか)

11月27日(日)

産業まつり&食育フェア

(貴志川体育館、貴志川生涯学習センター)



編集後記

つい最近百五歳でお亡くなりになられた医師の日野重明先生のお話の中の一つです。

人間は生き方を変える事が出来る。

繰り返す毎日の行動を少し変える事によって、意志と努力により新しい自己を形成する事ができる。

なるほど本当にそう思いますね。

何においても悔いのない人生の為には、

まず行動を起こさないとー思うだけでは何も始まらないのです。

(編集長)